

## METTS NEWSLETTER

教職課程センター・地域学校教育センター

## 特集 公立学校教員採用試験二次試験結果（最終合格）速報！

公立学校の令和6年度教員採用試験（令和7年度採用）二次試験の結果（最終合格）が各自治体別に発表されました。今年度の公立学校合格者は全体で延べ23名（現役20名、既卒3名）となりました。

千葉県

9名合格

東京都

12名合格

新潟県

1名合格

石川県

1名合格

## &lt;合格者詳細一覧（10月14日現在）&gt;

自治体	校種・教科	合格者名	人数
千葉県	中高・国語	伊藤和真（卒）、	1
千葉県	中高・英語	高木由紀、田中陸、仲田未羽、布施名菜、古川湖菜 安田結貴、渡辺渚稀、信太明日華（卒）	8
東京都	中高・国語	鈴木凜果、吉野青空	2
東京都	中高・英語	池内夏美、大野杏里、小川翔太郎、久保田波南、小林聖菜 佐藤百恵、森岡凜、吉澤阿門、渡辺もも、佐久間陸人（卒）	10
新潟県	中学・英語	折笠涉	1
石川県	中高・国語	吉野青空	1
合計			23名

東京都期限付き\* 5名合格

\*期限付き合格者とは、二次試験で不合格となった者のうちでも一定の基準に達しているときみなされた者です。来年度は、採用試験で一次試験が免除されるだけでなく、教諭として教壇に立てる可能性が高いです。

## &lt;東京都期限付き合格者詳細一覧（10月14日現在）&gt;

校種・教科	合格者名	人数
中高・国語	岡村萌果	1
中高・英語	喜多功祐、坂内隆斗、田中啓夢、原山要佑	4

## 合格者の喜びの声

## 英米語学科4年 安田結貴さん（千葉県中高英語合格）

「昨年に前倒し受験で通過していたので、絶対に受かりたいという気持ちが強くありました。METTSでの一次試験の集団討論の指導では千葉県の教育施策に関する資料をたくさんいただき、この資料のおかげで集団討論では良い意見が言えました！二次試験では模擬授業や個人面接、チーム・ティーチングなど合格するためにとても細かくご指導いただき、何から何まで親身になって教えてくださいました！！」



## 国語科教育法合宿 in 勝浦

9月9日（月）から9月11日（水）まで2泊3日で国語科教育法合宿が明海大学セミナーハウス勝浦コテージで実施されました。対象者は、教職課程の科目である「国語科教育法Ⅰ・Ⅲ」を履修した日本語学科の3年生で、18人中13人が参加し、教職課程センターの藤井大輔センター長と山本聖志教授、浅田勉教授が企画し、実施しました。

1日目は講話として藤井センター長が教職の魅力、教師に求められる資質・能力、保護者や地域への対応等について具体例を挙げながら話されました。2日目の午前中には、浅田教授が高等学校国語の定番教材である芥川龍之介の「羅生門」について教材研究の観点から解説をしました。午後には、山本教授が難読漢字や四字熟語、口語文法等、国語に関する基礎力の定着と向上を図る演習と講義を行いました。

最終日には合宿での学修についての振り返りを行った後、

セミナーハウスやビーチの清掃活動などに全員で取り組みました。



## 英語科教育法合宿 in 勝浦

9月11日（水）から9月13日（金）まで2泊3日で英語科教育法合宿が明海大学セミナーハウス勝浦コテージで実施されました。「英語語科教育法Ⅰ・Ⅲ」を履修した英米語学科の3年生を中心に9人が参加し、教職課程センターの西貝裕武教授と金子義隆教授が企画し、実施しました。

普段の授業では時間が足りなくて十分に模擬授業の時間をとることができないため、2泊3日の合宿を利用して模擬授業をたくさん実践してもらいました。合宿での模擬授業では、履修生は一人8分間で授業の導入部分をオーラルイントロダクションの形で行いました。その後、二人の教授が模擬授業に対するフィードバックを行いました。そして、そのフィードバックを基に参加者は2回目の模擬授業を行いました。やはり、2回目の模擬授業は1回目よりも全員が上手に行えるようになりました。

参加者の親睦を深めるためにバーベキューを計画し、合宿係が中心となって献立や買い物、食材の準備、片付けも全員で行い大いに盛り上がりました。



## 明海大学あけみ英語村 2024—小学生異文化交流プロジェクト—



10月8日、足立区との教育連携事業の一環で「明海大学あけみ英語村 2024—小学生異文化交流プロジェクト—」を開催しました。このプロジェクトは、2018年から始まり、最初の3年間は1年に1回でしたが、足立区側の強い要望もあり2021年からは年に2回、それぞれ別の小学校を招待して開催しています。今年も2回開催予定です。今回は、足立区立千寿双葉小学校5年生81人が本学の外国人留学生・教職課程履修生約50人と英語で交流しました。

小学生と本学生は12グループに別れてお互いに自己紹介したり、関心事を紹介したりしました。本学生が小学生を連れて学内のさまざまな場所に案内し、英語でクイズを用いたりしながら楽しく紹介をしました。そして、MLACCのHayashi教授とRode准教授によるコミュニケーション活動では、小学生ができるだけたくさんの留学生や大学生に質問し、コミュニケーションできた人の数だけシールをもらい楽しみました。参加した小学生は、「自分が思っていたより、英語で交流することは楽しかったです」や「一緒に回ってくれた大学生が優しすぎて自分もああいう人になりたいと思いました」などと感想を聞かせてくれました。

アゴラ活用状況（人）	
9月	420
2018年からの延べ数	67,176